

# 世界とつながる 自分をひらくこの1冊



中学生・高校生のみなさんが、自分の将来や進路について考える際の参考となるよう、ノンフィクションを紹介します。

## ふくいから世界へ

### いつだって人は変わる ～夢をかなえる魔法の言葉～

五十嵐裕子/著  
内外出版社

福井から世界へと羽ばたいたJETS顧問・五十嵐先生を  
励ましてくれたのは…



創部3年で全米大会優勝し、通算9回の優勝を成し遂げた福井商業高校チアリーダー部「JETS」JETSの顧問・五十嵐先生は、人を変えるのは、人との出会い、本との出会い、言葉との出会いと語っている。本書では、「本を読むこと」で出会った「言葉」を紹介する。

### さばの缶づめ、宇宙へいく ～鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち～

小坂康之/著 林公代/著  
イースト・プレス

小浜の鯖を宇宙へ届けたい。大きな夢にチャレンジ!



2020年11月、野口聡一宇宙飛行士が国際宇宙ステーションから投稿した1本の動画。そこで紹介されたさば缶は、福井県立若狭高校の生徒が作ったものだった。困難を乗り越え、世界初の快挙に至るまでの、高校生と大人たちの様々なドラマを綴る。

### イチからつくるピザ

小田原学/編 坂之上正久/絵  
農山漁村文化協会

ピザから世界が見えてくる。絵本を読んでピザをつくらう



小麦、トマトを育てピザをイチからつくってみると…。坂井市のピッツァ職人小田原さんがピザのつくり方、ルーツや歴史などを教える1冊。小田原さんは、1997年、本物のピッツァを食べたい!と本場ナポリへ渡り修業。2002年には真のナポリピッツァ協会の認定を受けている。

### ◆もっと読みたい①

### 「世界とつながる 自分をひらくこの1冊」

福井県立図書館ホームページでは、このリーフレットに紹介している本のほかにも、様々な生き方や職業を描いたノンフィクションを、約160冊紹介しています。



中学生・高校生に  
すすめるノンフィクション

## 中学生におすすめ

### いま生きているという冒険

石川直樹/著  
新曜社

生きることは冒険の連続



本に描かれている風景を自分でも見てみたいという思いから、著者は中学2年生で高知へ、高校時代にはインドへの一人旅を経験。その後、北極・南極踏破や七大陸最高峰登頂を成し遂げる。未知の地へ出かけることだけでなく、「心を揺さぶる何かに向かい合う」ということが冒険だと語りかける。

### アフリカで、バッグの会社ははじめました ～寄り道多め仲本千津の進んできた道～

江口絵理/著  
さ・え・ら書房

千津さんがたどりついた「平和をつくるバッグ」って？



小学5年生のときに「人の命を救う仕事」につくと決めた千津さん。中高生の頃に抱いた夢はかなわず、大学卒業後は銀行員に。しかし、世界で困っている人の役に立ちたいと模索し続け、アフリカ・ウガンダでバッグ工房を立ち上げ、バッグづくりを通して現地の女性たちを支援する社会企業家に。その道のりを綴る。

## 高校生におすすめ

### 僕には鳥の言葉がわかる

鈴木俊貴/著  
小学館

世界的大発見は、シジュウカラ愛にあふれた観察から



著者は、高校生の頃、お年玉で双眼鏡を買ったのがきっかけでバードウォッチングにハマり、鳥の研究ができる大学に進学。シジュウカラへの愛情と情熱で観察・研究を重ね、2000年以上信じられていた「人間のみが言葉を持つ」という常識を覆す。「動物言語学」創設者によるユーモアあふれる科学エッセイ。

### あなたの言葉を

辻村深月/著  
毎日新聞出版

“正解”がない世界の中で、自分に一番しっくりくる方法を探そう



あなたは、伝えたい気持ちが言葉にできず、もどかしい思いになったことはありませんか？

『かがみの孤城』の著者 辻村深月が、自らの体験を元に、これから大人になる人たちと「自分の言葉」の育て方を一緒に考える。毎日小学生新聞の連載をまとめた一冊。

#### ◆もっと読みたい② 『コレ、ヨモ!～あなたの扉を開ける72冊～』

子どもの成長段階に応じた推奨図書(中学生・高校生編)

中学生や高校生のみなさんにおすすめする本を、紹介文とともに掲載しています。

各公立図書館で配布、また、福井県生涯学習・文化財課のホームページにPDF形式で掲載しています。



子どもの成長段階に応じた推奨図書



#### ◆図書館・学校等の方へ

ここで掲載している紹介文とキャッチコピーは、図書館や学校などでの子どもの読書活動に、

自由に使用することができます。POPとして本の展示に使用するなど、読書活動にご活用ください。



福井県立図書館



ティーンズコーナー目次